

京都大学大学文書館利用等要項案 新旧対照表

(傍線部分は改正部分)

| 改正後 | 改正前 | 備考 |
|--|--|----------------------------|
| <p>(個人情報漏えい防止のために必要な措置)</p> <p>第7 大学文書館は、特定歴史公文書等に個人情報(生存する個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの(他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む。))をいう。<u>以下同じ。</u>)が記録されている場合には、法第15条第3項に基づき、当該個人情報の漏えいの防止のために次の各号に掲げる措置を講じなければならない。</p> <p>(1)～(4) 略</p> | <p>(個人情報漏えい防止のために必要な措置)</p> <p>第7 大学文書館は、特定歴史公文書等に個人情報(生存する個人に関する情報であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの(他の情報と照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む。))をいう。)が記録されている場合には、法第15条第3項に基づき、当該個人情報の漏えいの防止のために次の各号に掲げる措置を講じなければならない。</p> <p>(1)～(4) 同左</p> | <p>ガイドライン改正に基づき修正するもの。</p> |